

国土交通省淀川ダム統合管理事務所 独立行政法人水資源機構日吉ダム管理所
資 料 配 布

配 布 日 時	平成19年 7月13日 14時00分
------------	-----------------------

件 名	日吉ダムの洪水調節効果について ～桂川(亀岡地点)の水位を109cm低減～
-----	--

概 要	独立行政法人 水資源機構 日吉ダムでは、梅雨前線の影響で、7月12日6時から降り始めた降雨により、ダムへの最大流入量毎秒約453m³を記録しました。 この出水に対し日吉ダムでは、洪水調節を実施し、ダム下流桂川(亀岡地点)の水位を推定109cm低減させました。
-----	--

取 り 扱 い	_____
---------	-------

同 時 配 布	京都府政記者室 亀岡市政記者クラブ
---------	----------------------

問い合わせ先	国土交通省淀川ダム統合管理事務所 副所長 永野 純一(ながの じゅんいち) 電話：072-856-3131(代表) 独立行政法人水資源機構日吉ダム管理所 所長代理 永田 勝志(ながた かつし) 電話：0771-72-0171(代表)
--------	--

日吉ダムの洪水調節効果について ～ 桂川(亀岡地点)の水位を 109cm 低減 ～

西日本に停滞中の梅雨前線の活動が活発化し、淀川水系桂川の日吉ダム（京都府南丹市日吉町）上流域では7月12日6時から13日8時にかけて、総雨量106mm(流域平均)を観測しました。特に12日8時から11時までの3時間で95mmの強い雨が降りました。

日吉ダムでは、この降雨の影響により、12日11時40分にダムへの流入量が洪水量（毎秒150m³）に達したため、洪水調節を開始しました。

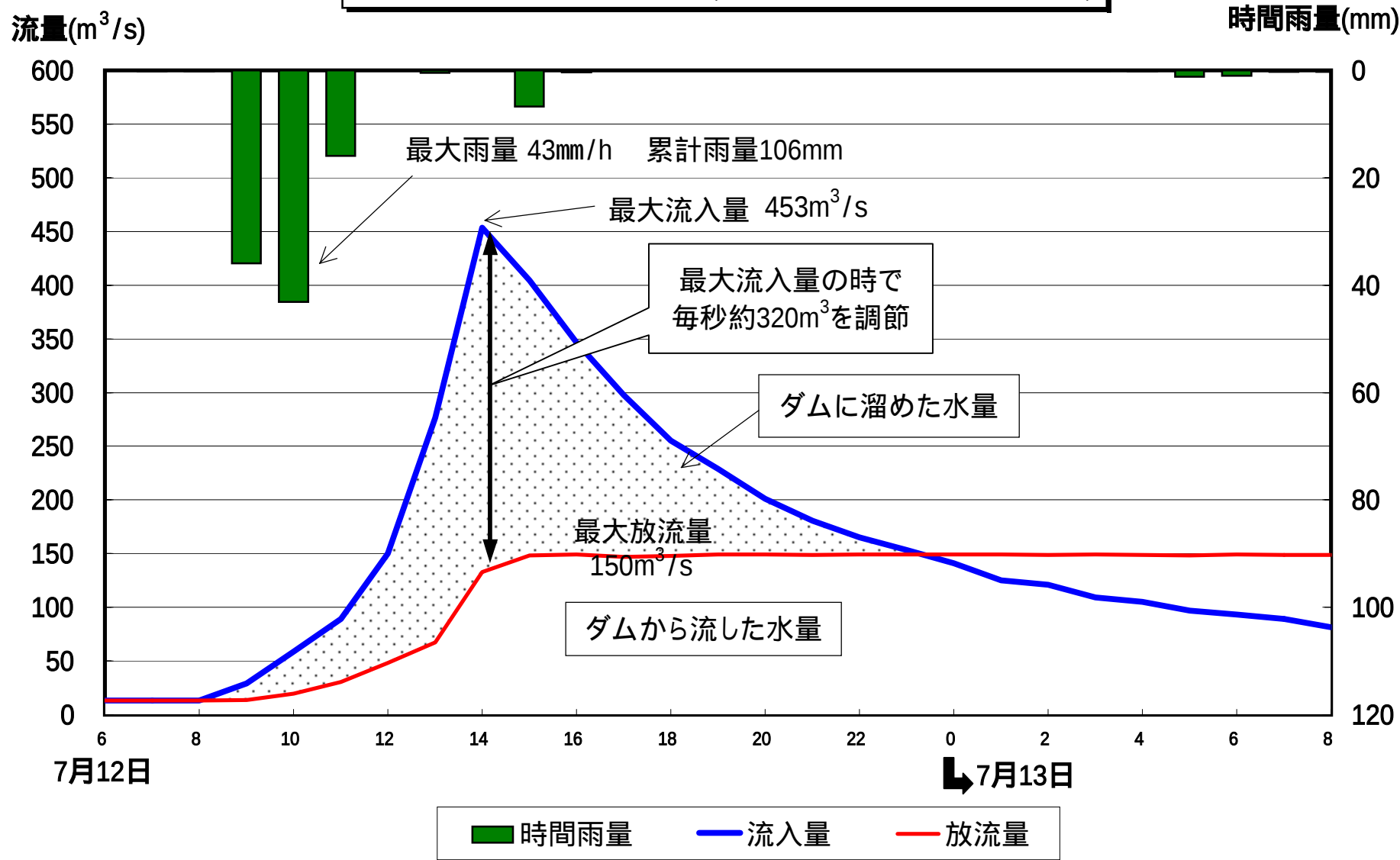
今回の日吉ダムによる洪水調節は、今年度においては初めて実施したものであり、ダム下流の亀岡（京都府亀岡市保津町）地点において、109cmの水位低減効果を発現したものと推定されます。

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

■ 淀川水系と日吉ダム流域



日吉ダムの洪水調節状況(7月12日6時～7月13日8時)



日吉ダムの洪水調節効果(亀岡地点)

